

第25回

難病・遺伝医学 セミナー

講演: 常染色体優性多発性嚢胞腎における遺伝子解析と臨床応用

2021年

1月27日 **水** 18:00-19:00

順天堂大学10号館1階105カンファレンスルーム

講師紹介: 河野春奈先生

(順天堂大学大学院泌尿器外科学 特任准教授)

座長: 岡崎康司 (難病の診断と治療研究センター・ゲノム診療センター)

司会: 新井正美 (難病の診断と治療研究センター・ゲノム診療センター)

概要: 常染色体優性多発性嚢胞腎 (ADPKD) は遺伝性腎疾患の中で最も頻度が高く、我が国の指定難病の一つである。原因遺伝子として PKD1、PKD2 が知られているが、近年他の原因遺伝子の報告が相次いでいる。病状進行を抑える治療薬 (トルバプタン) はあるものの、大量の飲水を要するなど患者への負担が大きく、効果の高い患者の選定方法や、新たな治療法の開発が望まれている。我々は本邦における ADPKD 診療の中心施設として、遺伝子診断と遺伝子情報の臨床応用について研究を行っており、最新の知見を交えて紹介する。

申込方法: 以下の申込フォーム・QRコードよりお申込みください。
※開催日までに詳細と招待URLのご案内メールをお送り致します。

<https://forms.gle/WWGfgdrEJkuwAsiHA>

LIVE配信 (Zoom) にて開催

1月26日 (火) 17時締切

※当日は、順天堂大学10号館1階105カンファレンスルームで講演致します。聴講もできますのでお時間がありましたら会場でのご参加もお持ちしております。



お問い合わせ

難病の診断と治療研究センター/ゲノム診療センター
新井/原田 (内線71407/5167)